第14回下関畜産講演会が開催される

下関農林事務所畜産部
平成21年2月13日

平成21年２月６日、下関市家畜自衛防疫協議会と下関畜産連絡協議会の共催により、関係者及び畜産農家を含め約80名が出席し、下関畜産講演会が開催されました。

下関市家畜自衛防疫協議会研修会では、「子牛の損耗防止のために」と題して西部家畜診療所の岡村真吾所長による講演が行われました。「自分の家畜は自分で守ること」として、子牛を健康に育てるためのワクチン接種や駆虫方法、初乳の重要性等について研修しました。

また、下関畜産連絡協議会研修会では、「和牛改良の現状と今後の課題」と題して（社）家畜改良事業団　岡山種雄牛センターの和田功場長に講演をして頂きました。その地域全体がまとまって改良に取り組み、魅力的な市場作りをすることの重要性、子牛を育てる時には定期的に大きさを測る事が必要であるという内容でした。

下関農林事務所畜産部は、このような研修会を通じ、生産者のみなさんの飼養管理技術、衛生意識の向上を図っています。

畜産部長挨拶

講演の様子